

輪

新潟大学附属特別支援学校
学校便り 第503号
令和5年10月30日発行

子供たちの自立と社会参加を願って ～今年度研究について～

研究主任 住吉 泰斉

今年度は、昨年度から引き続き「子供の確かな学びを育む授業づくり」をテーマに研究を進めています。では、テーマにある「子供の確かな学び」とは何なのでしょう。

当校では、今年度より国語や算数・数学などの教科の学習をこれまで以上に取り入れました。各教科の学習では、子供たちが自立し、社会参加するために必要となる力の育成が求められます。国語であれば、聞く・話す・書く・読む力、算数であれば、数を数えたり、形を捉えたりする力など、1つの教科の中にも様々な力があります。こうした、様々な各教科の力を、子供たちが着実に身に付けることを「子供の確かな学び」としています。教科の学習を通して、子供たちがその教科の力を確かに身に付け、社会の中で豊かな生活を送っていくことができるように、日々の研究活動に励んでおります。

では、この「子供の確かな学び」を育むために、どのような研究を行っているかについて簡単にご説明します。

最も力を入れているのが「体験的、実際の活動」の設定です。「教科学習」と聞くと、一般的には教科書での学習をイメージする方が多いかもしれません。しかし、子供たちの学びには、「直接体験」が重要であると考えます。そこで、実際に子供たちが体を動かして学んだり、実際の生活とのつながりを感じながら学んだりできる活動を各学部で考え、実践しています。

また、子供たち全員が教科学習に取り組みますが、実態は一人一人異なります。そこで、子供たちの興味・関心を大切に、一人一人の強みを生かしたり、困難さに配慮したりしながら、個に応じた教科学習となるように授業づくりを進めています。

このような授業づくりを通して、教科の力、つまり、子供たちの自立と社会参加につながる力を確かに育んでいきたいと考えております。保護者の皆様におかれましては、引き続き、当校の研究活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

第45回特別支援教育研究会 概要

【期日】 令和5年12月1日(金)

【日程】 午前の部(9:00~12:30)

公開授業(小学部/中学部)・協議会

午後の部(13:30~17:00)

公開授業(高等部/通級指導部)・協議会

保護者の方の参加は、公開授業の参観のみとなります。
本日、チラシを配付しましたので、そちらで詳細をご確認ください。申込締切りは、11月22日(水)です。

研究に関する最新情報や実践の詳細については、当校ホームページ、フェイスブック、YouTubeチャンネルをご覧ください。



ホームページ



Facebook



YouTube



～1 学期に行った授業実践を紹介します～

小学部 生活科「ぼくはすし屋さん！わたしはらーめん屋さん！みんなでお店屋さんごっこを楽しもう」
教師や友達と遊ぶことや自分の役割に取り組むことを目指した授業です。



寿司とラーメンのお店屋さんごっこの活動を行いました。フェルトや毛糸などを使って寿司やラーメンを自由に作ったり、「どうぞ」と渡したりしながら、教師や友達と一緒に遊ぶ姿が見られました。また、客側と店側に分かれて、注文を受けて商品を作ったり、作ったものを運んで渡したりしながら、お店屋さんとしての役割に取り組む姿が見られました。

中学部 数学科「同じ・違う、大きい・小さい、どっちかな？」
ものの大きさを感じ、「大きい、小さい」と言葉や身振りで表現することを目指した授業です。



極端に大きいものと小さいものを比べる活動をしました。初めは教師と一緒にそれぞれに対して「大きいね／小さいね」と確認しながら学習を進めました。子供たちは、次第に、「おっさい！」と声に出したり、教師と一緒に腕を大きく広げて「大きい」を表現したりする様子が見られました。

中学部 数学科「長さをくらべてみよう」
ものの長さに関心をもち、その比べ方を身に付けることを目指した授業です。



他校との交流会会場に使う輪飾りを用いて長さを比較する活動を行いました。子供たちは、複数の輪飾りを床に並べ、「端をそろえる」「ピンと伸ばす」のポイントを意識しながら、「こっちの方が長いよ！」「こっちは短い！」と、言葉や身振りで長さを表現しながら、学習に取り組む姿が見られました。

高等部 国語科「話の順序を意識してスピーチしよう」
自分が経験したことについて、他者に分かりやすく伝えることを目指した授業です。



職場実習で経験したことをグループの友達に発表する活動をしました。発表する前には、経験したことを教師と確認しながら、時系列でワークシートにまとめ、それを用いて発表しました。「これを最初にやりました」「最後にこれをやりました」「〇〇できてうれしかったです」などと、やったことを順に話したり、感想を付け加えたりして、分かりやすく発表する姿が見られました。

高等部 国語科「自分の意見を整理して伝えよう」
自分の意見について、理由と共に他者に伝えることを目指した授業です。



「自分ならどっちを選ぶか？」という、2択の問いに対する自分の考えを発表する活動を行いました。「校外学習に行くならボウリングか、映画か」などの問いに対して、自分の立場を選び、その理由を複数考えて発表しました。「前に友達とボウリングをした時、もっと仲良くなった」「映画は運動が苦手でも楽しめる」など、説得力のある理由を考え、発表する姿が見られました。

通級指導部 自立活動「読んで分かったことを伝えよう」

在籍校の授業場面にもあるような「読んで分かったことを相手に伝える」活動に取り組みました。分かったことを伝える際のヒントとなる話型を用いて、自分なりに教材文を読んで分かったことを話す姿が見られました。

このように、通級指導部では、子供たちが、自分に合った学び方に気付き、在籍校の授業で自信をもって活動に取り組めるように、研究を進めています。

